

JDL大阪支店ニュース／サイバー会計事務所！！ 実例紹介



JDL SONIC



八木 正宣 先生



「サイバー会計事務所」の実践状況

＜ペーパーレスとサイバー化への取り組み＞

電子帳表ディスク作成システム

電子帳表は顧問先で専用ソフトを準備する必要がなく、また、元帳検索が出来るなど、使い勝手も良い。調査の時は、顧問先で電子帳表のDVDを元に印刷してもらう。事務所ではファイルサーバーを立てて、データの一元管理を実現しており、外出先からでも事務所のサーバーにアクセスして、データ処理を可能にしている。

＜ハーモニールームの活用＞

注1. ハーモニールームは、会計事務所向けのグループウェアです。

新規に職員を3名増員して体制を大きく変えた。これを期に、意志伝達の手段としてハーモニールームを活用している。口頭や紙・メールでの伝達を極力やめて、ハーモニールームを活用して行く。

＜顧問先とのネットワーク＞

JDL IBEX 出納帳 8 JDL IBEX 給与 II

顧問先に出納帳と給与を購入してもらい、NDストレージを運用している。顧問先のパソコンが壊れても、事務所のサーバーにデータがあるので安心・安全。データの受け渡し等の複雑な作業も必要ない。NDストレージは大変優れたビジネスモデルだと考えている。ネット会計のメリットは色々有るが、顧問先の入力が何処まで進んでいるのか、事務所側で把握出来る事が最大のメリット。これからも、顧問先のニーズに応じてサイバー化を進めて行きたい。

＜オリジナル資料の作成 - RDBの活用＞

注2. RDB = リレーショナルデータベースの略

全ての顧問先に同じ帳表では、内容を見てももらえない。どのような帳表が必要なのか、顧問先毎に要望を聞き取り、潜在的なニーズを引き出して、顧問先毎のオリジナル資料の作成に力を入れている。以前は作成に時間が掛かっていたが、RDBを活用すれば短時間でオリジナル帳表が作成出来る。

＜電子申告について＞

結論は非常に便利です！顧問先とのやりとりから従来は延べ1週間以上の時間を費やしていたが、電子申告ではその手間が省けるうえに、非常にスムーズに処理ができる。

JDL大阪支店では、220件の電子申告個別サポートを実施致しました。(平成20年1月末現在)



＜サイバー化について思うこと＞

自計化について何人もの先生と情報交換しているが、他の事務所はなかなか進んでいないように思う。当事務所は事務所を立ち上げた時からの、ゼロからのスタートだったのでやりやすかったが、自計化やネット化が進んでいない事務所は、職員も含めて意識を変えて行く事が必要だと思う。



＜事務所の未来像＞

当事務所は、中小・零細企業のサポートが多い。顧問先の自計化を進めることで料金は下がるが、事務所のサイバー化で生まれた時間で、経営コンサル等の高収益が見込まれる業務に力を入れたい。

JDL大阪支店では電子申告の個別サポート実施中です。詳しくは、大阪支店までお問い合わせ下さい。



株式会社 日本デジタル研究所 大阪支店

06-6263-5074(代)

担当 糸山・福嶋・黒田